

# しんぎょう

救世観音大菩薩

聖徳王と示現して

多々のごとくすてずして

阿摩のごとくにそひたまふ

(救世観音大菩薩は、聖徳太子となつてこの世に現れて、父のようにして私を捨てず、母のようにして私に添い続けて下さいます。)

(親鸞聖人『正像末和讃』)

観世音菩薩は阿弥陀如来の慈悲の徳を現す菩薩さまです。世の音を観ずるといふその名は、衆生のいのちの声を聞き取つて救い遂げるはたらきが示されています。救世観音ともいわれるのは世を救うはたらきを強調したものでしょう。

さて、親鸞聖人は、観音菩薩がこの世に姿を示して現れて下さったのが聖徳太子であると仰います。この観音菩薩の化身の話は、聖人以前の昔から聖徳太

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

## 真楽寺報

令和三年十一月

子のご生涯を伝える伝記、伝説に語られてきたことです。さらには太子を尊崇する思いが変化して、現世利益を祈る観音信仰が各地に広まっています。しかし、親鸞聖人の聖徳太子に対するお敬いは、利益を願う信仰ではなく、阿弥陀如来の本願に導いて下さるはたらき対するものでした。

聖徳太子のご生涯が、仏様の心を大切にされ、政治を行うにも仏法を抛り所にしておられたことは太子の作と伝えられる『十七条憲法』に明らかです。だからこそ、その姿に出遇った人々は太子を観音菩薩と仰いでおられたということでしょうし、その菩薩のようなはたらきが仏法興隆の礎になっていったのです。

かりの京都六角堂(頂法寺)での夢告では、本願念仏の道を歩まれる事の勧めを受けておられました。

現代は脳科学で夢を分析したり等する時代ですが、昔の人は寝ている時に見た夢を意味のあるものとして受け取っていたようです。

親鸞聖人と同年生まれの梅尾の明恵上人というかたは、自分の見た夢を四十年にわたって記録した『夢記(ゆめのき)』を残されました。見たことすら忘れてしまう私などにはどうして出来ないことですが、上人は夢を記録することで己とは何かを見つめておられたのかも知れません。親鸞聖人の場合も、ご自身のいのちに響いた仏法が、菩薩の姿で夢に現れていたということでしょう。その夢に、進むべき道を確かめておられたのだと思います。

この和讃で聖人は、夢に現れるほどに常に導かれているということを、「多々のごとく」、「阿摩のごとく」と、父母のはたらきにたとえられています。

親鸞聖人は、幼くしてご両親

と離ればなれになつておられます。捨てることなく導き、常に寄り添う事が出来なかつたのが聖人のご両親なのです。しかし、父日野有範卿が出家をされていること、また、『親鸞聖人正明伝』に伝えられる母吉光如様は遺言に我が子の出家を願われたとある事などから、聖人の出家には親の願いがあつたように想像をします。直に姿を見ることがはななくとも、常にご両親の思いを受けて仏道を歩まれた聖人だったのでないでしょうか。

そのような両親のように聖徳太子を讃えられるのは、それ程に大きな影響を受けておられたということでしょう。

磯長での「この世のいのちは限られている。浄土に生まれてさとりを開く道を信じよ。」と勧められ、六角堂での「一生の間あなた的人生につきそい、護り、導き、極楽浄土に生まれさせる。」と呼びかけられたという夢告のとおり、菩薩様が父母のように聖人の本願念仏の道を供にして下さると思ひ、そのお徳を仰いでおられたということでしょう。

## ◎秋の法要のお知らせ

左記の通り『秋の法要』をお勤めします。

御講師は、本願寺派布教使で、同布教使課程元選任講師の花岡静人先生をお招きしています。

お誘い合わせてご参詣下さい。

記

### 一、日時

十一月二十日(土)

午前九時半～十一時半

### 聞信のつどい

午後二時～四時

### 納骨堂永代経法要

十一月二十一日(日)

午前九時～九時半

### 初参式

午前十時～十一時半

### 聞信のつどい

### 一、御講師

本願寺派布教使

### 花岡静人師

(奈良県大和郡山市)

## ☆『聞信のつどい』

真楽寺が大村に御教化の営みを始めましてから三十八年の年月がたちました。そして、これまでに沢山の御門徒の皆様が、真楽寺にご縁を結んで下さいました。様々なご事情、それぞれに異なる歴史

をかかえる皆様が、真楽寺のひとつの本堂に集われる姿は、本堂に不可思議なご縁のはたらきとしか表現のしようがありません。

ここに共に会えた事はそれぞれのいのちに連なる無数の先達や、法友のおはたらきがあったことでしょうか。その御恩を蒙って、また、

私たちも後の人々の法縁を紡ぐはたらきの中にあるのだと思います。

この仏法に出会い、み教えを聞き得たこと、そして、御報謝の営みを慶ぶ法要として『聞信のつどい』をお勤め致します。

ご家族、法友、お誘い合わせてご参詣、お聴聞下さい。

## ☆『納骨堂永代経法要』

納骨堂にご縁の方全ての仏徳を讃嘆供養する法要をお勤めします。

納骨堂をご利用でない方も、どうぞ、ご一緒にお聴聞下さい。

## ☆『初参式』 はつまいり

赤ちゃんが生まれてきて最初のお参りです。

仏様のお慈悲に包まれて生きていく子供、そしてその親、あるいは祖父母としての新たな人生の出発を、如来様に奉告する式です。

受式のお子さんを募集しています。御希望の方は十一月十三日(土)までに真楽寺にご連絡下さい。

※秋の法要に向けて境内本堂のお掃除をします。ご都合つかれる方はご協力下さい。

十一月十四日 境内掃除

家族礼拝後 九時半から

十一月十六日 堂内掃除

御命日法要後 十時半から

## ◎富の原真楽寺(富の原一・四三二・四)

### 報恩講のお知らせ

左記の通り、富の原真楽寺においてお取り越し報恩講をお勤め致します。近隣の方はご参詣下さい。(駐車場がございません。)

記

期日 十一月二十一日(日)

午後二時より

御講師 花岡静人師

## ☆本願寺長崎教堂

### 報恩講のお知らせ

本願寺長崎教堂(諫早市新道町)の報恩講が左記の通り勤められます。参詣される方は真楽寺にお申込み下さい。

日時 十一月二十七日(土)

十四時 速夜法要

十八時 初夜法要

同 二十八日(日)

十時 日中法要

講師 水杉悟史師(兵庫県)

## ◎年末年始の行事のお知らせ

### ☆年末大掃除について

新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、恒例の真楽寺お供えの餅つきは中止し、大掃除のみ実施します。ご都合のつかれる方はご協力下さい。日時は**十二月二十六日(日)** 九時から二時間ほどです。

## ☆除夜会

十二月三十一日(金)

午後五時より一時間

## ☆元旦会

令和四年一月一日(土)

午前十時より一時間

## 毎月の行事案内(一月、八月を除く)

### ◆月例法座

毎月第一日曜日 午前九時半より

### ◆家族礼拝

毎月第二日曜日 午前九時より

### ◆親鸞聖人御命日法要

毎月十六日 午前九時半

### ◆門徒会(御法義歓談会)

毎月十六日 御命日法要に引続き

但し、今月は本堂の掃除を行います。

### ◆聞信会

毎月第二土曜日 午後二時より

『正信念仏偈』を味わいます。

大村市木場一丁目八五番地二  
真楽寺 電話五二一五〇一八

